

# 光ルーターで高速転送

## 富山県立大教授がV B設立へ

【富山】富山県立大学工学部の安井直彦教授と松田弘成助教授は、大量の情報を高速で送信できる光ルーター（経路選択装置）を開発した。動画などを高速でやりとりでき、双方向ゲームやテレビ会議に活用できる。安井教授は今年度中に同大学で初の大学発ベンチャー企業（V B）を立ち上げる考えだ。

光ファイバー通信はパケットを光信号で送るが、ルーター通過時に電気信号に変換してヘッダー（あて先）を読み取るため、転送速度が落ちる。この問題を解決するため、安井教授らは光信号のまま、ヘッダーを読み取る「光ラベルスイッチルーター」を開発した。内部に合分波器などを組み込み、送信先を示す光の波長を読み取る。

転送速度は試作機では毎秒百メガ（メガは百万）だが、改良で一ギガ（ギガは十億）は可能という。安井教授は企業化に向け、NTTアドバンステクノロジ（東京・新宿）とマネジメント契約を結んだ。